

医師確保対策の推進について

【 文部科学省・厚生労働省 】

提案・要望の内容

- 1 中山間地・離島における医師不足は全国的な課題であり、国の責任において所要の対策を講じること。
- 2 大学のカリキュラムに地域医療を取り入れるとともに地域医療を積極的に推進する体制を確立すること。
- 3 女性医師に対する体制整備の改善を図ること。
 - ・ 女性医師の増加に対応する産前・産後休暇、育児休暇の代替要員の医師を確保するため医学部定員の増員を図ること
 - ・ 女性医師の結婚・出産などによる中断後の再研修制度の整備など、女性医師が働きやすい環境整備を行うこと

【 現状と課題 】

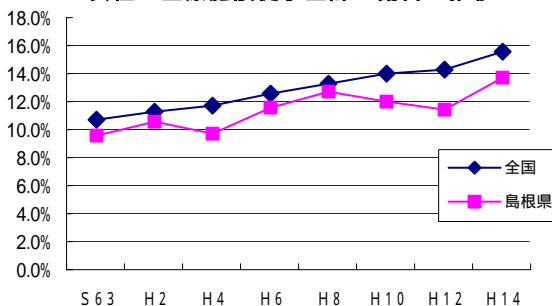
従事医師数の地域的な偏在が著しい

県内の中山間地・離島の中小病院では、産婦人科や精神科などの特定診療科及び内科等の一般的な診療科においても、医師不足が深刻化しており地域医療の確保が危ぶまれている。

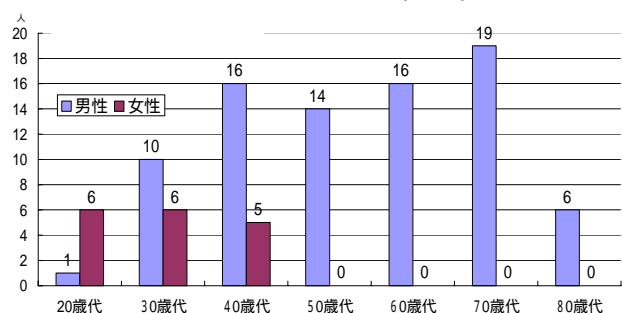
女性医師の増加

女性医師は、全国と同様本県でも増加傾向にある。特に産婦人科については若い世代

女性の医療施設従事医師の割合の推移



島根県の産婦人科医師数(99人)



【 本県の取り組み状況・方針 】

従来から自治医科大学を卒業した医師を、中山間地・離島の病院や診療所に派遣し地域医療確保の支援を実施。

地域医療支援センターを設置(H16～)し、地域医療確保のため医師をプール化し派遣。平成17年度からは「研修医等定着特別対策事業」等を、地元の島根大学や県内の臨床研修指定病院と連携し実施。

- ・ 医学生に対して地域医療への関心を喚起させる教育の実施
- ・ 魅力ある初期臨床プログラムの作成支援
- ・ 地域医療奨学金の実施 等

【 提案要望の効果 】

県民すべてが、いつでもどこでも安心して医療を受けられる社会の形成。